

【平成21年度 前期 シラバス】

■地域診断法特論 (秋山道雄、鵜飼修, 他非常勤講師) 必修2単位 前期

(1) 授業のねらいと内容

地域再生への取り組みは、初めに地域特性を適切に把握・評価することから始まる。この授業では、地域における、環境、文化、経済等の特性を、さまざまな側面にわたる調査データおよび既存データを駆使して読み解く技術と、分析、評価するための手法を示す。また、地域課題相互の関連性や対処法について、具体的な事例を踏まえて考える。単に対処療法的な技術ではなく、諸要素の状況を総合的に分析して、地域の問題・課題の本質を把握し、解決策を提案する能力を習得することが目標である。

具体的には地域診断の基本理念と手法を学んだ後、特定地域の課題解決を念頭に地域を構成する様々な属性(レイヤ)毎の診断・評価手法を学び、最後には、履修生自身が各講座で得られた知見を踏まえて総合的な診断を実施し、それらの診断をもとにした地域再生提案をとりまとめる。なお、講義時間外でグループによる調査、提案の作成が求められる。

(2) 授業計画

4/10 第1回	オリエンテーション、グループ分け	
4限	『鳥の目、虫の目、科学の目で見る湖国』	奥貫隆 秋山道雄 鵜飼修
4/17 第2回, 第3回	診断基礎①、②	
4,5限	『エコロジカルプランニングによる地域診断』	風見正三(宮城大学教授)・鵜飼修
5/1 第4回, 第5回	診断基礎③、④	
4,5限	『GISを利用したデータ解析』	東善広(琵琶湖環境科学研究センター)・鵜飼修
5/15 第6回, 第7回	診断基礎⑤、⑥	
4,5限	『プレ診断』	鵜飼修・秋山道雄
5/29 第8回	属性診断①	
4限	『滋賀県の気象・気候の特性把握と地域診断』	加藤真司(彦根地方气象台)・秋山道雄
5/29 第9回	属性診断②	
5限	『滋賀県の地形・水系の特性把握と地域診断』	倉茂好匡・秋山道雄
6/12 第10回	属性診断③	
4限	『滋賀県の動植物の特性把握と地域診断』	中井克樹(琵琶湖博物館)・鵜飼修
6/12 第11回	属性診断④	
5限	『滋賀県の歴史の特性把握と地域診断』	水野章二・鵜飼修
6/26 第12回	属性診断⑤	
4限	『滋賀県の経済・産業動態の特性把握と地域診断』	秋山道雄・鵜飼修
6/26 第13回	属性診断⑥	
5限	『滋賀県の安全・防災上の特性把握と地域診断』	高田豊文・鵜飼修
7/10 第14回	分析・提案①	
4限	『特定地域の地域診断・提案の作成』	秋山道雄・鵜飼修
7/11 第15回	分析・提案②	
4,5限	『地域診断に基づいた地域再生提案発表・講評』	秋山道雄・鵜飼修 他

*学座担当教員によるオフィスアワーを設けるので適宜活用のこと。

(3) 成績評価

- 各回授業でのミニレポート(第14回、15回を除く、2、3回、4、5回、6、7回は2コマで1回とする10回×5点=50点満点)、各グループで制作した成果物及びプレゼンテーション(30点満点)、最終レポート(20点満点)にて評価を行う。やむを得ず欠席する場合は、必ず事前に事務局に申請し、ビデオ補講を行い、所定の期日までにミニレポート提出を行うこと。なお、この場合、評価点は通常より1段階下とする。

(4) テキスト

- 各週の講義内容に応じて、資料を提示、配布する。参考図書等は、適宜紹介する。

(5) 宿題及び小試験

- グループでの調査・提案作成を実施するため、授業時間外での活動が必須となる

(6) 履修資格

- 近江環人地域再生学座生対象。学座生以外で履修を希望する場合は所定の手続きが必要。

■コミュニティ・マネジメント特論 (仁連孝昭、鵜飼修, 他非常勤講師) 必修2単位 前期

(1) 授業のねらいと内容

まちや地域のダイナミクスを創り上げている「人的、文化的、自然的」リソースに着目し、それらをうまく活用する社会的、制度的、経済的な仕組みを理解し、活用する方法について学ぶ。

コミュニティ・アーキテクト(以下CA)の活動には、様々なコミュニティとの対話やネットワークの構築が必須である。本講座では、様々なコミュニティ・マネジメントの実践者を講師として招き、多様なコミュニティの①概要把握、②特性把握、③マネジメント手法、④創造手法を学び、実際のプロジェクトにおいて関係するコミュニティをマネジメントできるCAの育成をめざす。

(2) 授業計画

- 第1回 [理念] オリエンテーション
『コミュニティ・マネジメント総論』 仁連孝昭・鵜飼修
- 第2回 [理念] 企業のマネジメント手法
『企業の環境マネジメント』 森建司(新江州株式会社社長)・仁連孝昭
- 第3回 [基礎知識] 自治体のコミュニティ施策
『滋賀県のコミュニティ施策』 清水安治(滋賀県総務部)・仁連孝昭
- 第4回, 第5回 [基礎知識] NPOの実態及び市民活動の動向把握と県内ネットワーク構築
『NPOと市民自治』 阿部圭宏(NPO法人市民熱人代表)
北川憲司(滋賀県地方自治研究センター副理事長)・鵜飼修
- 第6回 [事例] 世界の環境共生コミュニティ
『インドの持続可能なコミュニティ』 近藤隆二郎・鵜飼修
- 第7回 [事例] 女性・子育て世代コミュニティ
『女性自立支援のマネジメント』 小川泰江(NPO法人びいめ〜る企画室理事長)・鵜飼修
- 第8回, 第9回 [事例] 地域デビュー・世代間交流の手法
『団塊世代の地域デビュー支援』 堀池喜一郎(NPO法人シニアSOHO普及サロン三鷹前理事長)・鵜飼修
- 第10回 [事例] 商店街再生
『商店街再生のマネジメント』 田中武夫(東和銀座商店街振興組合理事長)・鵜飼修
- 第11回 [実践ノウハウ] 地域活性化
『私からはじめる地域再生』 鵜飼修
- 第12回 [実践ノウハウ] 地域事業創発
『地域事業の創発手法と支援』 西岡孝幸: ((財)滋賀県産業支援プラザ)・仁連孝昭
- 第13回 [実践ノウハウ] コミュニティ・ビジネス
『コミュニティ・ビジネス実践論』 鵜飼修
- 第14回 [ビジネススキーム作成]
『地域事業モデルの提案』 鵜飼修
- 第15回 総括ディスカッション(ミニレポートを用いたディスカッション)
『コミュニティ創造手法・マネジメント手法』 鵜飼修 他

*学座担当教員によるオフィスアワーを設けるので適宜活用のこと。

(3) 成績評価

・各回授業でのミニレポートの提出(14, 15回除く、8, 9回は2コマで1回とする12回×5点=60点満点)及び最終レポート(検定模試)の提出(40点満点)で評価を行う。やむを得ず欠席する場合は、必ず事前に事務局に申請し、ビデオ補講を行い、所定の期日までにミニレポート提出を行うこと。なお、この場合、評価点は通常より1段階下とする。

(4) テキスト、指定図書、参考書

講義内容に応じて、適宜資料を提示、配布する。

(5) 宿題及び小試験

- ・ミニレポート

(6) 履修資格

- ・近江環人地域再生学座生対象。学座生以外で履修を希望する場合は所定の手続きが必要。

■コミュニティ・プロジェクト実習Ⅱ

(松岡拓公雄、山根浩二、鵜飼修、高田豊文、河崎澄、森川稔、他非常勤講師)

必修2単位 前期

(1) 授業のねらいととりくみ

エコ・テクノロジー特論と関連してその内容を実践的に修得することをねらいとする。実習では、主にサステイナブル・デザインに必要な自然エネルギー利用技術、パッシブソーラーを取り入れた木造建築技法などについて課題を抽出し、その解決能力を養う。

1) 自然エネルギー利用技術

・太陽光発電システムおよびバイオ燃料発電システムに関するデータ収集と解析技術を修得する。

2) 自然素材利用技術

・地域の特性を踏まえた様々な技術の中から、特に土を積み上げる版築構造や木工技術等の実習を通じて、その身近な環境問題解決に向けた技術の一端を習得する。

(2) 授業計画

第1回 ガイダンス 山根浩二・河崎澄・松岡拓公雄・高田豊文・鵜飼修

第2回 太陽光発電のコンピュータシミュレーションによる実習 山根浩二・河崎澄

第3回 太陽光発電系統連係の実習，自動計測・データ分析 山根浩二・河崎澄

第4回 バイオディーゼル燃料製造実験 山根浩二・河崎澄

第5回 バイオディーゼル燃料を用いたディーゼル発電実験・データ収集 山根浩二・河崎澄

第6回 自然エネルギー利用技術の活用例 鵜飼修

第7回 木工および版築構造の制作工程 松岡拓公雄・高田豊文・中西茂行(株式会社雄夢代表)・

第8回 木構造および版築構造の計画 北嶋祥浩(株式会社アビエルト建築・都市代表取締役)

第9回 木構造および版築構造の計画 畑中久美子(畑中久美子デザイン室代表)

第10～15回 木構造および版築構造の制作実習

(3) 成績評価

エネルギー系50点+木工系50点=合計100点満点で評価し、60点以上を合格とする。なお、16回のうち、4回以上欠席した者には単位を認めない。エネルギー系は出席点(50%) + 2テーマのレポート点(50%)で評価する。なお、木工系については出席状況により評価する。

(4) テキスト、指定図書、参考書

講義内容に応じて、適宜資料を提示、配布する。

(5) 履修資格

・近江環人地域再生学座生のみ対象。

■地域再生システム特論

選択2単位 前期

准教授 森川稔、鶴飼修

【概要】 地方分権が推進される中で、地域の様々な課題解決を図り、地域の自立性、自律性を高めるには、私たちは何をすればよいのか。その解決策を提案するための理論と実践的手法を学ぶ。授業では、地域再生提案を行うためのコーディネーターやファシリテーション、地域診断等の手法及び地域再生の事例を学ぶ。また、講義で習得した手法をもとに、地域住民、行政、学生を含むグループを形成し、設定されたフィールドと課題について課題解決にむけての実践的な活動の企画、現地調査、解決策作成をとりまとめる。

【授業計画】 *夏期集中(9月下旬実施予定)

- 第1回 地域再生手法概論
- 第2回 国における地域再生の制度と取り組み
- 第3回 滋賀県における地域再生の制度と取り組み
- 第4回 地域再生に向けたシステム形成
- 第5回 市町における地域再生事例1
- 第6回 市町における地域再生事例2
- 第7回 ワークショップの企画
- 第8回 地域再生手法 地域診断1
- 第9回 地域再生手法 地域診断2
- 第10回 地域再生手法 ファシリテーション1
- 第11回 地域再生手法 ファシリテーション2
- 第12回 地域再生手法 プランニング1
- 第13回 地域再生手法 プランニング2
- 第14回 プレゼンテーション コーディネイト
- 第15回 まとめと講評

【成績評価】

授業内小試験 70%、ファシリテーション能力等の実践力評価 30%

【テキスト】

- 必読書：御園 慎一郎編「地域再生システム論」東京大学出版会，2007/10
- ：近江楽座学生委員会編著「近江楽座のススメー学生力で地域が変わる」(株)ラトルズ，2008/11
- ：(仮)地域診断法(平成21年7月発刊予定)

【宿題及び小試験】

- ・グループのコーディネーター、提案作成等、授業時間外での活動が必須となる

【履修資格】

地域診断法特論及びコミュニティ・マネジメント特論を履修済みであることが望ましい